

## 経年劣化から安全を保つための常時監視『クレーン稼働の状態把握』

### ■課題

建屋の両側の壁に沿って走行するクレーンには、2年に1度の定期的な性能検査が義務付けられています。しかしクレーンは日々稼働し負荷は蓄積され続けるため、稼働率が高く経年劣化したクレーンは、大事故に繋がる危険性もあり検査方法にも危険が伴う為、日々安全な検査を求められています。

### ■概要・期待効果

クレーンのたわみ幅をレーザー距離計で稼働負荷は電流計測で稼働時、非稼働時関係なく計測します。非稼働時の状態、稼働時の電流値(重量)の違いによるたわみの変化で、クレーン劣化を監視することができます。距離計による計測を行う事で、クレーン付近で検査者が実施する危険を抑える効果に期待ができます。

